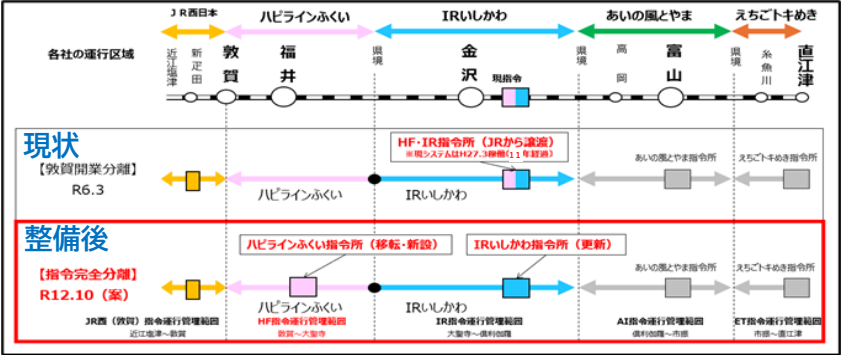


指令所の移転・新設

1. 事業概要

- ハピラインふくいが運用する指令所について、指令システムの更新時期に合わせて、**金沢から県内へ移転・新設**
(耐用年数は約15年のところ11年が経過)
- 事業費：総額52.2億円(R8年度 1億4,400万円)
(内訳 国庫20.4億円、起債28.4億円、一般3.4億円)

2. 現状および整備後の運用イメージ



3. スケジュール・事業費

項目	年度					
	R8	R9	R10	R11	R12	R13
指令所(建屋)	詳細設計	建屋本体	設備・内装			
指令システム	基本設計	詳細設計	機器製作	機器設置	試験	稼働
事業費(億円)	1.5	7.6	25.8	15.6	1.7	-

4. 事業効果

- 指令所を県内に移転・新設することにより、安全・安定運行の確保に加え、**災害発生時に迅速な復旧対応が可能**
- 県外への通勤が不要となることで、**職員の負担を軽減し、通勤コストを削減**
- 使用料削減や、JR貨物から一定の負担(貨物線路使用料の増)が見込める
(年間約1.2億円の収支改善効果)

車両基地(検査庫等)の整備

1. 事業概要

- ハピラインふくいの南福井車両基地に、**維持管理設備**(車体洗浄・排水処理・車輪削正等)や**車両検査に用いる検査庫**を整備
- 事業費：総額36.3億円(R8年度 5億7,100万円)
(内訳 起債36.3億円)

2. 整備後の配置イメージ



3. スケジュール・事業費

項目		年度				
		R8	R9	R10	R11	R12
第一期	詳細設計	設計				
	車体洗浄・排水処理		設置	稼働		
	車輪削正装置	発注	設置	稼働		
第二期	検査庫(仕業・交番検査)			建設	建設	稼働
	事業費(億円)	5.7	20.5	4.8	5.3	-

4. 事業効果

- 自社基地の整備により、不要コストを削減するほか、増便による増収を図る
(年間約1億円の収支改善効果)
- 車両運用の効率化により、新たに2編成(購入の場合:25億円以上)相当の車両運用が可能となり、福井駅以北で**3.0分間隔の運行等によるダイヤ充実を図る**